

上部疾患の患者の内視鏡情報研究利用についてのお知らせ

この度、北海道対がん協会札幌がん検診センターでは、「**内視鏡 AI 診断における IEE 観察の検討**」を実施することになりました。

この研究の目的は、内視鏡検査による疑い病変と内視鏡AI診断の関連を明らかにすることです。

この研究のため、令和6年8月から令和7年3月までに、当院で内視鏡検査をさせていただいた方に行います。対象となるのは当施設で胃内視鏡を受ける患者さんで、検査中に疑い病変を認めて内視鏡AIを使って悪性度の診断を行なった方です。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（内視鏡画像とAI結果）のみです。通常の内視鏡検査時に撮影された画像で、該当する画像のみを使用します。データ上ではすべての患者様は匿名化（任意の識別番号を付与）されており、患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。また、調査項目は通常の内視鏡検査で得られるもので、検査時間が延びるとか生検を行なう件数が増えるとかの新たな負担が生じることはありません。なお、この研究で得られた情報は、患者様個人がいっさい特定されない形で解析を行う予定です。また、当該情報は今後の内視鏡AI診

断の参考として用いられることになります。

この研究の科学的妥当性と倫理性は、北海道対がん協会札幌がん検診センターの倫理委員会において厳重に審査され、承認されています。個人情報保護の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

研究を実施するにあたり、製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

令和6年8月

公益財団法人 北海道対がん協会

研究責任者：会長 加藤 元嗣